

平成 31 年度 帰国・外国人児童生徒等教育の推進支援事業
(Ⅱ 定住外国人の子供の就学促進事業)

事業内容報告書の概要

都道府県・市区町村・協議会名【 熊本県宇土市 】
平成31年度に実施した取組の内容及び成果と課題
<p>1. 事業の実施体制</p> <p>日本語指導が必要な児童生徒に対し、各小中学校の指導教室を設置し、日本語学習指導を実施。日本語指導については、NPO法人外国から来た子ども支援ネットくまもとに委託し、実施。</p>
<p>2. 具体の取組内容</p> <p>小中学校の空き教室を活用し、日本語指導教室を設置し、授業時間外に日本語指導を実施した。対象者は、小学生 1人、中学生 2人を日本語指導講師 2人で、交替しながら対応した。指導内容については、生活言語である言葉の指導に加え、初級日本語のテキストを使用したり、漢字や作文の指導を行ってきた。</p> <p>過去に日本語指導が必要であった児童生徒の進路先や就学状況、併せて各指導教室での成果や課題についての調査を実施した。</p>
<p>3. 成果と課題</p> <p>生活言語の習得ができ、周囲とのコミュニケーションが円滑に図れるようになり、日本での不安やストレスの解消につながった。</p> <p>継続した取組が効果を生み出すため、きめ細かな指導体制を整備するための予算や時間の確保が今後の課題である。</p>
<p>4. その他(今後の取組等)</p> <p>今回実施した調査を基に、進学に向けた日本語指導や進路の検討を行っていく。</p> <p>また、日本語指導体制整備の促進を図る。</p>

※ 枠は適宜広げること。(複数ページになっても差し支えない。) 成果物等があれば別途提出すること。